

国分寺地区地域審議会委員 各位

介護老人保健施設こくぶんじ荘の「民営化」について（ご報告）

介護老人保健施設こくぶんじ荘は、国分寺町地域での将来にわたる施設の存続と、より安定した医療・介護体制の確保や利用者サービスの向上を目指すため、運営形態を、現在の公営から、医療法人等の民間事業者による運営へ移行（民営化）する予定です。

なお、利用者の皆様には、引き続き安心してご利用いただけるよう、円滑な移行に努めますので、ご理解をお願いいたします。

1 民営化の趣旨

こくぶんじ荘は、平成2年8月に、当時としては、民間による施設整備がほとんど進んでいない状況下の中、医療機関を母体としない運営形態により、国分寺町の直営で開設されて以来、常に医師確保等に課題を抱えながらも、同町地域における福祉と保健の中核拠点として在宅介護支援などに先駆的な役割を果たし、福祉向上に貢献してきました。

しかしながら、近年、医療法人をはじめとする民間事業者により、介護老人保健施設のほか、特別養護老人ホームやデイサービス事業所、ケアハウスなど介護サービス等を提供する類似施設が数多く開設されるなど、公営施設が果たしてきた先導的役割は達成されつつあります。

このような状況を踏まえ、こくぶんじ荘が、将来にわたり皆様に安心してご利用いただけるよう、公民の役割分担や安定した施設経営の視点から、運営形態を民営化するものです。

2 民営化の効果

民営化により、こくぶんじ荘が現在抱えている諸課題が解決され、次のような効果が期待できるものです。

〔課題〕

- (1) 常勤医師の安定的な確保
- (2) より快適な生活環境への改善と、きめ細かなサービス提供
- (3) 利用者数の低迷等による経営状況の悪化

〔効果〕

- (1) 医療法人等の民間事業者が運営することによって、安定した医療・介護体制の確保が期待できます。
- (2) 民間事業者の経営手法に基づく柔軟で機動的な施設経営によって、利用者サービスの一層の向上と経営状況の改善が期待できます。

3 民営化の移行時期等

平成21年4月。なお、移行に当たっては、円滑な引継ぎに努めます。

※ 民営化に関するお問い合わせは、高松市健康福祉総務課（TEL（087）839-2372）まで